

校内研究授業 1年国語「たぬきの糸車」

1年1組で研究授業を行いました。

小学校に入学してから、もうすぐ一年が経とうとしている一年生。読む、書く、話す、聞く、一時間しっかり学びに向かう姿がありました。授業スタートの音読の姿だけで、一年の成長が感じられました。



目標（学習指導要領より）

【知識・技能】

- ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。

【思考・判断・表現】

- ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
- ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
- ・互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。
- ・語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。



この時間の学習の目標は、「自分の好きのところを選び、理由を書く。友だちの意見を聞いて、反応する。」です。書くことと聞くこと、二つの目標を設定しました。

これまでも、富田林小学校では、「書くこと」で表現できるように各学年で取組を進めてきました。

1年生での最終目標は、『二文で書く』と設定しています。この時間には、「なぜなら～」に続けて、選んだ理由が書けることをめざしました。全員が書けるように、例文を使いました。まず、例文をみんなで作り、文の書き方を確認しました。「すること」がわかった子どもたちの鉛筆は、一斉に動き出しました。

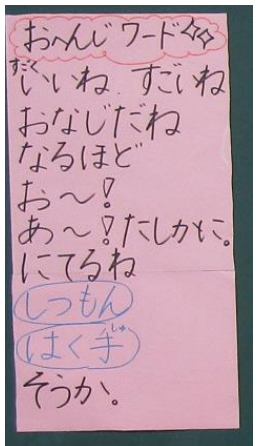
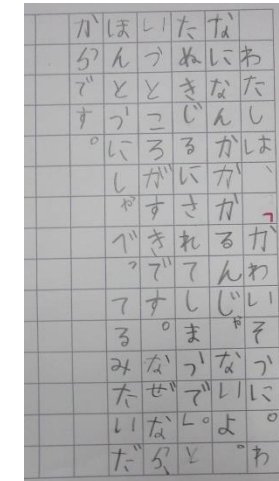
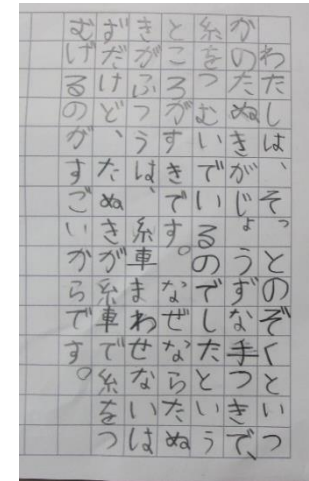
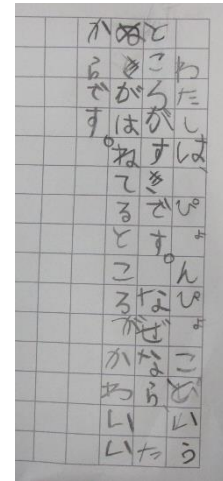


自分の好きなところを教科書の本文から選び、理由もスラスラと書いています。下のように、みんなしっかり書けています。

書いた後は、お友だちと交流です。まずはペアで。そして、全体で。



ここで、もう一つの目標に向かいます。関心をもって聞くために、お友だちの意見に「お返事」を返すことにしました。お返事のヒントとして、これまでにみんなで集めたお返事ワードを掲示しておきました。お友だちに一生懸命聞いてもらえると、話しやすいです。さらにお返事をもらって、また話そうという気持ちになります。話をつなぐ仕掛けです。



「お見事！」なんてお返事している子もいました。ことばの宝箱の中から、お父さんから言ってもらったことがあるこの言葉を見つけたそうです。

「かわいいからです。」「おもしろいからです。」一年生が「なぜなら…」の後に続けた文章です。これから学校全体で、この一文を多様な表現ができるように、成長させていきたいと考えています。豊かな表現ができるために、語彙を増やす取組を進めていきます。子ども達が豊かな表現に触れられるように、友だちのステキな表現を共有できる場面を作ります。そして、教師も表現豊かな言葉の使い手になれるように努力します。

子ども達は、日々の会話の中から多くの語彙を獲得します。ぜひご家庭でも、子どもたちとの会話の中で、「どのように」「どんな様子」を用いた会話を意識してみてください。

これからも、小学校の6年間でどんなゴールをめざすのかを考え、学びを積み重ねていきたいと思っています。